

平成23年度 第1学年 総合的な学習の時間「夢への第1歩」 単元計画 (18時間)

1. 単元名「夢への第1歩」
2. 単元目標 地域の人たちとのコミュニケーションを通して、自己を見つめ、自己の生き方を考えることができる。
3. 子どもの実態

小学校において、総合的な学習の時間において、「地域や自然とのかかわり」、「地域や人とのかかわり」をテーマとし、①ふれる ②つかむ ③しらべる ④まとめる・つなぐ という一連の学習活動をおこなっている。じっくり考え、自分の考えをもち、文章にまとめて書くことはできるが、発表をためらう生徒が多い。情意的成長が遅く、他者とのかかわりに支援が必要な生徒がいる。
4. 教材について

自分を見つめ、自分のよさに気づかせる。ジョハリの窓を使い、自分では気がつかなかった自分の良さについて知ることで、自己肯定感を高めさせる。次に、働くことの意義を学ばせる。働くことで、金銭を得るだけではなく、家族を守ること、社会に役立っていることなど働く意義について、地域と連携をとりながら、学びとらせたい。また、働く人の生の声を聴くことで、働く意義だけでなく、仕事に対するやりがいや苦勞、その職業に就くための方法などについて学ばせたい。

最後に、自分の夢の実現に向けて将来設計図をたてさせる。将来の自分を考えさせることで、今までの自分に足りなかったこと、改善すべき点、伸ばしていくべきことを整理させたい。そのために、将来就きたい職業について調べさせる。このことを通して、これからの進路を考えるきっかけをつくるものである。道徳や言語・数理運用科とつなげながら進めていきたい。

5. 単元計画

時間	学習内容	ねらい	評価方法	学習形態や支援	他教科との関連
1	見つめてみよう今の私 ・自分のよさは何だろう *事前に家族や友達など身近な人に「自分のよさ」を聞いておく。	・自分の長所や夢(将来就きたい職業)、目標などを見つめることができる。 【関心・意欲・態度】 ・自分の長所や夢(将来就きたい職業)、目標などを仲間に伝えることができる。 【表現・技能】	ワークシート 観察	・(個人) ワークシートにそって、自分のよさや夢(将来就きたい職業)を見つめるようにする。 ・(グループ) 仲間同士でお互いのよさを見つめあう場を設定し、発表しあう。 ・(全体) 数名全体で発表し、発表後は掲示する。	道徳1-(5) 『自分をまるごと好きになる』 学活VTR「自分発見」(19分) 道徳1-(1) 学活『学ぶ意義』
2	探ってみよう、私のチャレンジ ～働くってどういうこと?～ ・人は何のために働くのか考えてみよう ・家族や身近な人の考えを聞いてみよう ・友達の意見を聞いてみよう *働くこと、学ぶことの意義を具体的に追究していく。 *心のノート『考えよう「働く」ということ』を活用して、学習課題を持たせておきたい。 *家族からの聞き取りを通して、家族の考えを知ったり、共感したりするようにする。	・家族から話を聞いたり、友達と話し合ったりしながら、働くことについて自分なりに考え、今後の学習課題をもつことができる。 【思考・判断】 ・自分なりに『働く』ということについて考えることができる。 【関心・意欲・態度】 ・『働く』ことについて、家族や仲間と意見を交流することができ、自分なりの考えをまとめることができる。 【表現・技能】	ワークシート 感想 観察	・①(個人) 人は何のために働くのか考える 予想される子どもの意識 ○お金を得るため ○自分を生かすため ○自分の夢を追うため ○社会や自然に自分を役立てるため ○昔からのもの、家業を継ぐため ・(グループ) 仲間との話し合いでは、互いの意見を認め合い、働くことへの価値観が広がるようにする *家族の考えを聞いて、ワークシートにまとめてくるよう指示する ②・(グループ) 家族の考えを交流しあう ・(全体) グループで話し合ったことや感想を発表 ・(個人) 心のノート ワークシートに自分の考えをまとめる *将来就きたい職業を考えてからゲストリーダーから学ぶ会用に職種希望を書かせる	道徳4-(6) 学活VTR「職業生活を考える」(18分) 道徳2-(5) 心のノート『いろいろな立場があり考えがある』
3					
4	自分の夢にまざり歩① ・職業調べをしよう (スキル) ・インターネットの使い方	・将来就きたい職業について調べ、働く意義について考えることができる。 【思考・判断】 ・将来就きたい職業に関心をもち、調べ学習に取り組むことができる。 【関心・意欲・態度】 ・調べたことを分かりやすくまとめることができる。 【表現・処理】	ワークシート 観察 発表原稿	地域サポーターを募る(4月) ・医療関係・教育関係・福祉関係 ・防災・防犯関係・行政関係 ・サービス業関係・スポーツ関係 ・販売業関係・生産業関係 ・将来就きたい職業についてコンピュータや本などを使って調べる *コンピュータ…各教室1台、コンピュータ室各クラス約6台ずつ *事前に職業調べをすることを伝え、利用できそうな本など図書館で借り持参させる。 *将来就きたい職業に関わりのある広島企業の、地域の店舗などのマップをつくらせてもよい。 ・ワークシートに簡単にまとめる。 ・発表用にファックス原紙に書く。	道徳4-(8) 学活『初めてのテストは勉強の計画をどのようにたてたらいいのかな?』 学活『私たちの町にはどんな産業や職業があるのかな?』 技術科「コンピュータのしくみと基本操作」 「コンピュータの利用」 道徳4-(7) 美術「文字をいかしたデザイン」 「色との出会い」
5					
6					
7					
8					

9 10	自分の夢にまず一歩② ・職業について調べたことを発表しよう ・インタビューの内容を考えよう	・仲間の発表を真剣に聞き、他の職業に対して関心をもつことができる。 【関心・意欲・態度】 ・調べたことを分かりやすく発表することができる。 【表現・技能】 ・調べた職業について、発表のポイントを考えることができる。 【思考・判断】 ・ゲストティーチャーから何を学びたいかインタビューの項目を考える。 【表現・技能】 ・ゲストティーチャーが持つ『働くこと』の価値観を追究することができる。	観察 発表原稿 感想 自己評価 ワークシート	一人ひとり発表する。 ・それぞれに工夫した点などを評価する。 ＊お互いのがんばりが認め合えるように、発表するときの態度、聞く態度について指導する。 ＊発表に使ったファックス原紙を掲示する。 ・どのゲストクラスかを知り、ゲストティーチャーから学びたいこと、インタビューの内容をまとめる。	心のノート 『コミュニケーションは心のキャッチボール』 学活 『挨拶や言葉づかい、あなたはどのようにしてる?』 道徳2- (3) 国語科「調べたことを正確に伝えよう」
11 12	自分の夢にまず一歩③ ゲストティーチャーから学ぼう	【思考・判断】 ・ゲストティーチャーの話に関心をもって聞くことができる。 【関心・意欲・態度】 ・相手を大切にしたいあいさつや目的にあったインタビューをすることができる。 【表現・技能】 ・お世話になった方々に感謝をこめて礼状を書くことができる。 【表現・技能】	ワークシート	グループに分かれる。(担当者が決まる) ＊事前にゲストと打ち合わせをしておく ＊働くことのやりがいや苦勞、困ったこと、その仕事につくための方法などを話してもらおう。 ・インタビューの時間を十分とり、コミュニケーションをはかる。	道徳1- (4) 道徳2- (1)
13	自分の夢にまず一歩④ ・感謝をこめて礼状を書こう ・学んだことをまとめよう	・働くことの意義をゲストティーチャーから学んだことを振り返りながら、深く考えることができる。 【思考・判断】 ・ゲストティーチャーから学んだことや考えたこと、感じたことなどを個々にまとめることができる。 【表現・技能】 ・ゲストティーチャーの話から、共感したことや考えたことをまとめるを通して、自分を再度見つめ、これからの自分を考えようとする。 【関心・意欲・態度】 ・自分の夢を叶えるために必要な資格や、進学先について自分で調べようとする。	ワークシート 感想 礼状	＊モデルとなる文章を紹介する。 ・ワークシートに働く人の願いや夢、情熱などをまとめる。 ・グループごとに発表し、意見交換して考えを深めるようにする。	道徳2- (6) 道徳4- (5) 国語科「手紙を書こう」 書写「言葉をつたえよう」
14 15 16	これまでの自分、これからの自分① ・将来設計図をかこう	【関心・意欲・態度】 ・自分の夢を叶えるために必要な資格など調べたことをまとめ、将来設計図にまとめることができる。 【表現・技能】 ・これまでの学習を振り返りながら、自分自身の夢(将来の職業)や目標を実現するために、何をすべきかを考えることができる。 【思考・判断】 ・将来設計図を使いながら、これから自分ががんばりたいことや目指すことなどを発表することができる。 【表現・技能】	将来設計図 ワークシート 観察 発表原稿	＊将来設計図の見本を紹介する。 ・夢をかなえるにあたって、高校や大学・必要な資格をインターネットなどで調べる。 ・発表原稿をつくる。 ＊必要な情報を集めるときに、個々にあったアドバイスを。 ＊発表後教室掲示をする	道徳3- (3) 言語・数理運用科「生活時間を考える」 学活「夏休みの過ごし方」
17 18	これまでの自分、これからの自分② ・発表会をしよう	・これから自分ががんばりたいことや目指すことを明確にすることができる。 【思考・判断】 ・お互いの個性や思いを認め合いながら、これからの自分の可能性を追究していこうとする。 【関心・意欲・態度】	観察 発表原稿	・仲間や保護者、地域の方に将来設計について発表する。 ・仲間の発表を聞いて、価値観を広げようにする。 ＊これまでの生活を振り返り、次につながるようアドバイスする。	道徳2- (2) 道徳2- (3) 道徳1- (2) 心のノート 『自分の人生は自分の手で切り拓こう』 国語科「発見したことを伝えよう」

1. 単元名「社会の中の自分」

2. 単元目標

- ①人や社会と積極的に関わりながら、将来の夢や目標の実現を目指して努力しようとする意欲や態度を育てる。
- ②地域の方や職場体験先の方々が可能性を追究していくことに気づくようにし、自分なりに働くことや学ぶことの意義を考え、自分自身の可能性を追究していこうとする意欲や態度を養う。
- ③自分の可能性を追究している人の生き方に共感できるようにするとともに、相手や場に応じた話し方や聞き方ができるようにして、人の気持ちを大切にしながら活動しようとする心情や態度を養う。
- ④自ら課題を設定し、よりよく課題解決する力や学び方を身につけるとともに、協同的に取り組む態度や人間関係の力を育てる。

3. 生徒の実態

第1学年で「地域の中の自分」をテーマに、①自分を見つめ、自分のよさを知る ②働くことの意義を学ぶ ③将来の自分を考えることで、今の自分を振りかえってきた。地域の方や家庭と連携をとり進めており、総合的な学習の時間を終えて実施したアンケートでは、もっと自分の将来就きたい職業について、調べ、職業体験してみたいという意見が多く、2学年での総合的な学習の時間に対する期待、関心は高い。

1学年より言語・数理運用科の授業を通して、情報を取り出す力、思考判断する力、表現する力を育てており、与えられた課題に対して、必要な情報を取り出し、じっくり考え、自分なりの考えや意見を文章にまとめて書くことはできる。しかし、発表をためらう生徒が多く、自分の考えを相手に分かりやすく伝える力が育っていない。自分の考えを発表する場面、グループで協同的に取り組む場面、異年齢の方々とふれあう場面を設定し、コミュニケーション能力を高めていきたい。これは、総合的な学習の時間においてだけでなく、言語数理運用科や特別活動、各教科と有機的に関連付けながら、教科横断的に進め、高めていく必要がある。

また、自ら課題を見出し、追究しようとする積極性に欠ける。よって、この単元を通して、自らの将来に関わっての課題を見出し、自分の可能性を追究しようとする意欲や態度を養うとともに、中学校生活を目的意識をもって有意義に過ごせる生徒に育てたいと思う。

4. 教材について

第1学年での「地域の中の自分」での学習を引き継ぎ、「社会の中の自分」を見つめ、自分の可能性を追究していく学習である。

- (1) さまざまな職業や学校、資格を調べたり、職場体験やオープンスクールに実際に参加することを通して、働くことや学ぶことの意義を自分なりに考えることができるようにするとともに、自分の成長や個性、価値観に気づき、これからの生き方に自信をもつことができるようにする。
- (2) 自分の特技や個性を生かして働いている人、自分の可能性を追究して活躍している人の生き方をさぐり、自分の夢を追って努力している姿、さらに自分を高めようとする生き方に共感することができるようにする。
- (3) インターネットや電話などの情報機器を活用し、必要な情報を集めたり、職場訪問のアポイントメントなど適切な対応ができるようにするとともに、調べたことや学んだことをまとめたり、志や決意を発表する活動を行うことで、表現力、コミュニケーション能力を育む。

5 単元計画

時間	月日	キャリア能力	探究の過程	学習内容	ねらい	評価方法	学習形態や支援	教科等との関連			
1	5月17日	職業理解	課題設定	はじまる私のチャレンジ ・自分にとって働くことと学ぶこととは何かを考える。	働くことの意義や自分は何のために勉強するのかを考えることで、自分の生き方を振りかえることができる。 【思考・判断】	ワークシート 観察	・1年での総合的な学習の時間を振りかえる。 ・(個人)「働くこととは」や「何のために勉強するのか」について、自分なりの考えをまとめる ・(グループ)グループで意見を交流しあう。 ・(全体)何人か全体発表する ・(個人)自己評価をする				
2		計画実行		はじまる私のチャレンジ ～将来の職業を考えよう～	・いろいろな職業について知るとともに、自分らしさを活かせる職業は何かを考えることができる。 【思考・判断】	ワークシート 観察 自己評価	・(個人)自分らしさを見つけ、ワークシートにまとめる ・(グループ)仲間に自分のよさをかいてもらう ・(個人)将来の職業について考え、次時からの調べ学習への見直しをもたせる。 ・(個人)自己評価をする				
3	5月24日 5月31日	情報収集 探索 選択	情報収集	はじまる私のチャレンジ ～職業・進路コースを調べよう～ 教育・研究分野 医療・保健・福祉分野 法務・財務分野 技術・技能分野 サービス分野 運動・スポーツ分野 芸能・マスコミ分野 事務分野 営業・販売分野 保安分野 戸外分野 運輸・通信分野	・自分らしさを活かせる職業や将来就いてみたい職業について、技術や資格、進路コースについて調べようとする。【関心・意欲・態度】 ・自分の夢や目標を大切にしながら、自己の可能性を追究しようとする。 【思考・判断】 ・自分らしさを活かせる職業や将来就いてみたい職業について、技術や資格、進路コースをポイントをおさえてまとめることができる。 【表現・技能】	ワークシート 観察 自己評価	※前もって、調べ学習に必要なものを準備しておくようにしておく。 ・(個人)将来就きたい職業についてコンピュータや本などを使って調べる ※時間割を道徳や学活、担当者の授業と入れ換えるなどして、コンピュータ室が2クラスずつ利用できるようにする ・(個人)ワークシートに調べたことをまとめることを通して、夢を実現していくまでの過程を探るきっかけとする ・(個人)自己評価をする				
4											
5											
6											
7											
8				6月7日	コミュニケーション 自己理解	課題設定	はじまる私のチャレンジ ～ゲストティーチャーの話を聞こう～	・ゲストティーチャーから何を学びたいか、インタビューの項目を考える。 ・準備や役割分担を行う。			
9				6月10日	課題解決 自己理解	課題設定	はじまる私のチャレンジ ～ゲストティーチャーの話を聞こう～ 自分の特技や特徴を生かした職業に就いている人、資格をとって頑張っている人の話を聴く	・ゲストティーチャーの話を触れ、技術や才能を伸ばしたり、夢を実現させるためには努力が必要であることを学びとることができる。【思考・判断】 ・相手を大切にしたいあいつや目的にあったインタビューをすることができる。 【表現・技能】 ・夢を実現させるために、これからの生活をどうすべきかをゲストティーチャーの話から学びとろうとする。 【関心・意欲・態度】	ワークシート 観察 自己評価	※前もって、インタビュー内容を考えさせておく ・グループ(最低6グループ)に分かれる ※事前にゲストと打ち合わせをしておく ※技術や才能をのびしたり、夢を実現させるためには努力が必要であることなど、生徒につかませるような内容を考えていただく。 ・最後にインタビューの時間をとり、コミュニケーションをはかる。 ・クラスに帰り、分かったこと、感想、自己評価をかく	
10											
11	6月17日	課題解決 職業理解 コミュニケーション	整理分析	はじまる私のチャレンジ ～ゲストティーチャーのまとめをしよう～ ・感謝を込めてお礼状を書く。	・ゲストティーチャーの方々に感謝を込めてお礼状を書くことができる。 【表現・技能】 ・これからの職場体験に向けて自己の可能性を追求しようとする意欲を持つことができる。【関心・意欲・態度】 ・働く事、学ぶことの意義について、夢を追って挑戦することと結びつけて考えることができる。	礼状 ワークシート 自己評価	・(学級)ゲストティーチャーのお話を振り返り、心に残ったことや、仕事の苦労や頑張っていた所などを発表しあう ・(個人)お話で学んだこと(自己の可能性、働くこと、学ぶことの意義)、これからの生き方について思うことを入れながら礼状をかく ※礼状を6月中には送付する				
12		選択	課題設定	ふれてみよう自分の夢に ～職場体験事前学習①～ ・職場体験学習のねらいを知る ・昨年度の職場体験学習のVTRを視聴する ・将来の夢にできるだけ近い職場を考え、希望調査に書く	・職場体験学習のイメージをもち、その意義を理解することができる。 【思考・判断】 ・職場体験学習の意義や目的を理解し、自分が行きたい職場を選ぶことができる。【思考・判断】 ・希望調査に職場体験学習に対する思いをかこうとする。 【関心・意欲・態度】	ワークシート 観察 希望調査	※各学級にて、昨年度の職場体験学習のVTRを視聴するための準備をしておく ・(全体)職場体験学習のねらいを聴く ・(全体)昨年度の職場体験学習のVTRを視聴する ・(個人)職場体験学習に対する思いと、希望をかく ※できるだけ生徒の夢に近い職場がそろうように、早めにサポーターを募集しておく				
13	6月21日	コミュニケーション	情報収集	ふれてみよう自分の夢に ～職場体験事前学習②～ キャリアセミナー(あいさつ、服装、礼儀、名刺のわたし方、電話の応対など)	・講師の話から、職業人としてのマナーを学びとろうとする。 【関心・意欲・態度】	観察 自己評価 ワークシート	※講師に派遣依頼しておく ※昼休憩体育館準備(シート、椅子、講師席、マイク等) ・(全体)講師の話を聴く ・(個人)学級に帰り、自己評価し、学んだこと、感想等をかく				
14											
15	6月28日	課題解決 自己理解	課題設定	ふれてみよう自分の夢に ～職場体験事前学習④～ 目標と課題を設定しよう	・今の自分の夢や目標を見つめ、職場体験での自分のねらいや課題を設定することができる。【思考・判断】 ・履歴書に自己アピールやねらいなどをかくことができる。 【表現・技能】	ワークシート 観察 履歴書 自己評価	※職場別クラスを発表しておく ・職場体験学習の冊子をつくる ・(個人)今の自分の夢や目標を見つめ、職場体験で何を学びたいかを考え、ねらいや課題をかく ※「働くことの厳しさ」「夢をもつことの大切さ」を3日間の職場体験で探ってくることを共通の課題とする ・(個人)自分のよさを振り返り、履歴書に、自己アピール文や職場体験でのねらい等をかく ・(グループ)グループ内で交流し合う ※グループリーダーを決めておく ※履歴書は職場別クラス担当者がチェックし、アドバイスする ・(個人)自己評価をする				
16											

17	7月5日	計画実行 情報収集・探 索 課題解決	情報収集	ふれてみよう自分の夢に ～職場体験事前学習⑤～ 事前訪問計画をたてよう	・今の自分の夢や目標を見つめ、課題をもって職場体験学習の計画を立てることができる。【思考・判断】 ・体験を予定している職場や職業について調べ、場所・交通機関、ねらいにせまる質問事項等を書くことができる。【表現・技能】	冊子 観察 自己評価 計画書	・(グループ)体験を予定している職場や職業について調べ、場所・交通機関等を考え、計画書を作成 *個々の計画に対し、個別に助言する ・(個人)自分のねらいにせまる質問事項を考える ・(個人)自己評価をする			
18										
19	7月12日	役割把握・認識 コミュニケーション		ふれてみよう自分の夢に ～職場体験事前学習⑥～ アポイントメントをとろう	・相手や場に応じた質問や依頼文を考えることができる。【思考・判断】 ・適切な敬語をつかい、職場事前訪問のアポイントメントをとることができる。【表現・技能】 ・電話のかけ方をグループごとに練習することができる。【関心・意欲・態度】	冊子 観察 自己評価 グループ内 評価	・(個人)職場事前訪問のアポイントメントをとるために依頼文を書き、質問事項をまとめる ・(グループ)それぞれの依頼文を読み、失礼のない依頼文をつくる。 ・(グループ)質問事項をまとめる ・(グループ)ロールプレイングする *グループごとに助言する ・(グループ)アポイントメントをとる *授業日以外で訪問を希望された職場については、希望日の放課後の時間に訪問依頼させる ・(グループ)日時や注意事項を確認し、必要に応じて、計画の見直しをする *事前訪問の計画を個別にチェック ・(個人)			
20										
21	7月19日	役割把握・認識 計画実行 課題解決		ふれてみよう自分の夢に ～職場を事前訪問 しよう～	・職場体験学習の確認を相手や場に応じた言葉づかいで礼儀正しくできる。【関心・意欲・態度】	自己評価 ワークシート	*この日以外で訪問を希望された職場については、放課後の時間に訪問依頼させ教室で、自主学習させる。 ・(グループ)校外学習計画書にしたがって、グループ内で助け合いながら行動する ・(グループ)履歴書を渡し、体験日時、持参物、服装、注意事項等について確認する ・(個人)冊子に整理し、自己評価をかく			
22										
放課後	8月29日	コミュニケーション 計画実行		ふれてみよう自分の夢に ～職場体験事前学習⑦～ 最終確認をしよう	・集合時間や持参物、留意点等を確認し、職場体験に意欲的にのぞんでいる。【関心・意欲・態度】	観察 ワークシート 自己評価	・(グループ)各職場の集合時間、持参物、留意点等の最終確認 ・(全体)安全、緊急対応等に関する確認			
23	8月30日	課題解決 コミュニケーション 自他の理解 役割把握・認識 計画実行	整理分析	ふれてみよう自分の夢に ～職場体験第1日目～	・自分にまかされた仕事を責任をもってやり抜くことができる。【関心・意欲・態度】 ・資格や技術を習得するまでの苦勞を臆くことなく、「働くことの厳しさ」、「夢をもつことの大切さ」を学ぶことができる。【思考・判断】 ・相手や場に応じた言葉づかいで、各自の課題解決のための質問をすることができる。【表現・技能】	冊子	*実習先が休みの場合は、学校で作業を行う *教員は各職場を巡回し、必要に応じて指導する *職場の方の許可を得てから活動のようすをVTRや写真にとる *緊急の場合も想定して、すぐに動ける体制をつくっておく ①自己紹介・あいさつ ②職場体験実施の注意事項の確認 ③職場見学、施設等の説明 昼：【職場になれよう！職場の方と話をしてみよう】【「体験先の職場」や「仕事」のことについて等各自の課題解決のための質問をする】 ④職場内容の見学 ⑤働くことを実感しよう(職業実習) ⑥本日の反省・まとめ(ノート、日誌への記録)			
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31	8月31日			ふれてみよう自分の夢に ～職場体験第2日目～						
32										
33										
34										
35	9月1日			ふれてみよう自分の夢に ～職場体験第3日目～						
36										
37										
38										
39										
40										
41	9月6日	課題解決 職業理解 コミュニケーション	整理分析	ふれてみよう自分の夢に ～職場体験のまとめを しよう～ ・感謝を込めて礼状を書く	・職場体験でお世話になった方々に感謝を込めて礼状を書くことができる。【表現・技能】 ・職場体験を振り返り、自己の可能性を追究しようとする。【関心・意欲・態度】 ・働くこと、学ぶことの意義を夢を追って挑戦することと結びつけて考えることができる。【思考・判断】	礼状 ワークシート 自己評価	*事前に、職場体験を終えて、グループの仲間の頑張っていた所、良かった所を書かしておく ・(グループ)職場体験を振り返り、仲間の頑張っていた所、良かった所を発表しよう ・(個人)職場体験で学んだこと(自己の可能性、働くこと、学ぶことの意義)、これからの生き方について思うことを書く ・(個人)職場体験でお世話になった方々に感謝をこめて、学んだこと(課題解決できたこと)を入れながら礼状をかく			
42										
43	9月12日	情報収集・探 索 役割把握・認識	まとめ表現	ふれてみよう自分の夢に ～職場体験のまとめを しよう～ ・お世話になった職場のPRを兼ね職 場体験新聞をつくる ・発表会	・お世話になった職場について、感謝の気持ちをこめた紹介記事とキャッチコピーを考えようとする。【関心・意欲・態度】 ・みんなに分かりやすい文章表現や貼り付ける写真の選択、レイアウト、色づかいなどを考えることができる。【思考・判断】 ・各自の課題が解決できたことやできなかったこと、これからさらに追究していきたいことなどを整理し、わかりやすく表現することができる。【表現・技能】	観察 体験新聞 自己評価 発表原稿 ワークシート	・(グループ)お世話になった職場について、感謝の気持ちをこめた紹介記事とキャッチコピーを考える ・(グループ)職場体験新聞のレイアウト等を考える。 B4ファックス原稿用紙2枚以内 ・(個人)それぞれの課題が解決できたことやできなかったこと、これからさらに追究していきたいことなどを整理し、わかりやすく記事にまとめる。 *事業所担当が、写真等のデータをプリントアウトし、各グループに配布する ・(グループ)職場体験新聞をもとに発表する内容を話し合い、発表原稿をつくる ・(全体)グループごとに発表			
44										
45										
46				9月20日						
47	9月27日	役割把握・認識 コミュニケーション		ふくらませよう、私の夢 ～職場体験新聞を届けよう～ ・職場訪問をし、職場体験新聞を届ける	・職場体験新聞をつかって、お世話になった職場の方へ、体験学習で学んだこと(課題解決できたこと)を自分の言葉で伝えることができる。【表現・技能】	自己評価	*代表を1名決める*この日以外で訪問を希望された職場については、放課後の時間に訪問依頼させ教室で、自主学習させる。 ・(グループ)校外学習計画書にしたがって、グループ内で助け合いながら行動する ・(グループ)職場体験新聞を渡し、お世話になった職場の方へ、体験学習で学んだこと(課題解決できたこと)を自分の言葉で伝える ・(個人)自己評価をかく			
48										
49	10月4日	コミュニケーション 自他理解	まとめ表現 課題設定	ふくらませよう、私の夢 ～今までの学習を 振り返ろう～ ・VTR「職場体験学習2011」を視聴 ・職場体験紙発表 ・決意文発表 ・総合的な学習の時間アンケート	・総合的な学習の時間を振り返り、お互いの頑張りを認め合い、自信を持って自らの可能性を追究していこうとする。【関心・意欲・態度】	観察 アンケート 自己評価	*体育館でのVTR視聴の準備をしておく ・(全体)VTR「職場体験学習2011」を視聴する ・(全体)職場別クラスの代表が職場体験新聞を使って発表する ・(全体)各クラスの代表が決意文発表 ・(個人)総合的な学習の時間を振り返り、アンケートに記入する *アンケートは集計をし、次学年につなげる			
50										

1. 単元名「地域に貢献しよう」

2. 単元目標

- ① 今までの総合的な学習の時間を振り返り、家族や地域の方々の温かい支援に気づき、この地域で学べることに感謝する気持ちを育むとともに、社会の一員としての自覚を持ち、自分が人や社会のためにできることを考え、積極的に活動しようとする意欲と態度を育てる。
- ② 人や社会と積極的に関わりながら、必要な情報の集め方やまとめ方、発信の仕方を学び、課題解決に主体的に取り組むことを通して、自分の可能性を追究し、自己実現を目指そうとする意欲と態度を育てる。
- ③ 現代の社会的な課題や技術開発に取り組んでいる人の生き方を探り、専門性を生かしながら自分の夢を追究して社会に貢献していることに共感するとともに、相手の価値観や生き方を尊重しようとする心情や態度を養う。

3. 生徒の実態

1学年で「地域の中の自分」をテーマに、地域の方や家庭と連携をとり、「自分を見つめ、自分のよさを知る」、「働くことの意義を学ぶ」「将来の自分を考えることで、今の自分を振りかえる」活動をしてきた。特に「保護者からの手紙」では、自分のよいところを認めてもらえたことに喜び、感動した生徒が多かった。

2学年では、「社会の中の自分」をテーマに、自分の特技や個性を生かして働いている人、自分の可能性を追究して活躍している人の生き方に学んだり、さまざまな職業や学校、資格を調べ、職場体験やオープンスクールに実際に参加することを通して、働くことや学ぶことの意義を自分なりに考え、自らの可能性を追究する学習をしてきた。職場体験学習では、働くことの厳しさと喜びを学ぶとともに、社会に貢献していることに気づくことができ、職場体験学習の意義を感じていた。もう一度職場体験学習をしたいという生徒もいる。

1学年より言語・数理運用科の授業を通して、情報を取り出す力、思考・判断する力、表現する力を育てており、与えられた課題に対して、必要な情報を取り出し、じっくり考え、自分なりの考えや意見を文章にまとめて書くことはできる。また、道徳の時間では、定期的にグループ エンカウンターをしたり、学級活動の時間を通して、人間関係づくりやコミュニケーション能力を高めるためのスキル学習をしており、意欲的に取り組むことができる。しかし、発表をためらったり、自分の考えを相手に分かりやすく伝えることに自信が持てない生徒、人間関係づくりが苦手な生徒は少なくない。




4. 教材について

社会の一員として地域に貢献する活動をするを通して、自分を見つめ、自分の可能性を追究していく学習である。地域の環境(ゴミ、水質など)、福祉(老人福祉、医療福祉など)、教育(南小・楽小・南保育園など)、平和(地域のヒロシマ、被爆体験者に学ぶなど)、地域文化(海老焼、塩、祭り)、地域産業(楽々園商店街など)、健康(体力推進など)などのテーマから、自分が地域に貢献できることは何かを考え、課題設定をし、見通しをもって主体的に課題解決をさせたい。その際に、自分を見つめ直させ、自分のよい所や、得意なことをいかすことで課題解決させ、自尊感情を高めていきたい。また、今までに学んできたことを活用していくことで学習することの有用感をもたせたい。

本単元は、道徳の「家族愛」や「郷土愛」と関連が強い。道徳だけでなく、言語・数理運用科や特別活動、各教科と、有機的に関連付けながら、教科横断的に進めてく必要がある。

5. 単元計画

時間	キャリア能力	探究の過程	学習内容	ねらい	評価方法	学習形態や支援	教科等との関連
1	自己理解・自己管理能力	課題設定	地域サポート大作戦① ～オリエンテーション～ ・3年総合的な学習の時間のねらいを知る ・各講座担当教員の話聴き、自分のよさや特技を生かすことができる講座を選ぶ	・3年総合的な学習の時間のイメージをもち、その意義を理解することができる。【思考・判断】 ・3年総合的な学習の時間の意義や目的を理解し、自分のよさや特技を生かすことができる講座を選ぶことができる。【思考・判断】 ・希望調査に地域に貢献することについての思いや講座を選んだ理由をかこうとする。 【関心・意欲・態度】	希望調査 観察	・(全体)3年総合的な学習の時間のねらいを聴く。 ・(全体)各講座担当教員の話聴き、自分のよさや特技を生かすことができる講座を選び、希望調査にその思いを書く。 ＊どの講座を選んでよいか分からない生徒がいたら、生徒のよいところや特技、講座に関連して知っていることなどを引き出し、アドバイスする。 ＊各講座担当教員は指導計画を4/までに作成し、生徒に配布できるようにしておく。 ＊講座「福祉」「環境」「教育」「地域文化」「地域産業」「平和」「健康」 ＊5/までに講座の振り分けをし、生徒に発表しておく。	技術家庭科「わたしたちの成長と家族」「わたしたちと家族、地域」 道徳2-(6)『BIRTHDAY』 言語・数理運用科「広島食を守れ」

時間	キャリア能力	探究の過程	学習内容	ねらい	評価方法	学習形態や支援	教科等との関連
2 7	課題対応能力 人間関係形成・社会形成能力	課題設定 	地域サポート大作戦② ・各講座な自分には何ができるかを考えマインドマップを作成する ・仲間のマインドマップの説明を聴く ・探究テーマを設定し、設定理由を表現する ・自分の課題を追究する方法を考える ・中国新聞社の方への質問を考える	・マインドマップを作成し、発想を展開していくことを通して、自分に何ができるかを考えることができる。【思考・判断】 ・仲間のマインドマップの説明を聴き、自分にできることについて振り返ろうとする。【関心・意欲・態度】 ・探究テーマを設定することができる。【思考・判断】 ・探究テーマ設定理由を分かりやすく表現することができる。【表現・技能】	マインドマップ ワークシート 観察 自己評価	・(全体)マインドマップについての説明を聴く ・(個人)マインドマップを作成。自分にできることは何かを考える。 「福祉」 …老人介護→デｲ伊ゼス …医療福祉→こども療育センター 「環境」 …ごみ処理問題→西部リサイクルセンター …水質汚染→水鳥公園 「教育」 …南小・楽小→サマステイサポート 「地域文化」…海老焼き→アピール作戦 「地域産業」…商店街→アピール作戦 「平和」…ヒロシマ→被爆者の体験 「健康」…生活習慣→スポーツ ・(グループ)グループ交流をし、仲間のマインドマップの説明を聴く。 ・(個人)自分の考えを見直し、さらに自分にできることについて深く考える。 ・(個人)探究テーマを設定する。設定理由を分かりやすくワークシートに書く。 *担当教員は、それぞれに探究テーマをじっくり考えさせ、一人ひとりを丁寧に見取り、適切なアドバイスをする。 ・(個人)自分の課題を追究する方法を考える。情報収集の仕方やまとめ方などの追究の方法で中国新聞社の方へ質問したいことが出てきたら、ワークシートに書きだす。 *生徒から出た質問を各講座ごとにリストアップしておく。	言語・数理運用科 「110万人のごみゼロ宣言」「バイオ燃料は地球を救う?」「なぜかめで広島を紹介しよう」「広島市の自動車対策を提案しよう」「平和への誓い」「マが教えてくれること」 社会 「国際問題と地球市民」「国際社会と世界平和」 美術 「感謝の気持ちを伝えよう」 保健体育科 「ともに健康に生きる社会」 技術家庭科 「作品制作」「わたしたちと幼児のふれあい」 国語 「言葉を探求する」 道徳 2-(2), 2-(5), 2-(6), 3-(1), 3-(2), 4-(4), 4-(5), 4-(6), 4-(7), 4-(8), 4-(9), 4-(10)
8 9	自己理解・自己管理能力 課題対応能力	情報収集 	地域サポート大作戦③ ・中国新聞社の方から情報収集の仕方やまとめ方について学ぶ	・意欲的に中国新聞社の方の話を聴き、情報収集の仕方やまとめ方について知ろうとする。【関心・意欲・態度】 ・中国新聞社の話から、知り得たことをまとめ、自分の課題を追究する方法を考えることができる。【思考・判断】	ワークシート 自己評価 観察	*4月の早い段階で中国新聞社に講演依頼しておく。 *生徒から出た質問をリストアップし、中国新聞社の方と打ち合わせをしておく。 *昼休みに体育館の準備をしておく。 シート、マイク(卓上、司会)、長机など ・(全体)中国新聞社の方の話を聴く。 ・(全体)質問の時間をとり、コミュニケーションをはかる。 ・(個人)知り得たことをまとめ、自分の課題を追究する方法を考える。	国語 「聞く生活を考えよう」「インタビューで取材する」 道徳 2-(1), 2-(5) 言語・数理運用科 「著作権について考えよう」
10 13	キャリアプランニング能力	情報収集 	地域サポート大作戦④ ・取り組みの計画書を作成する	・中国新聞社の方から教えていただいたことをもとに、計画書を作成しようとする。【関心・意欲・態度】 ・自分の課題を追究する方法を具体的に計画書にまとめることができる。【思考・判断】	計画書 自己評価	・(個人)自分の課題を追究するための具体的な方法や容量など12時間にまとめ、計画書にかく。 ・(グループ)自分で立てた計画を交流し合い、意見を言い合う。 ・(個人)計画書の見直しをする。 *各担当教員は生徒一人一人の計画書を出させ、具体性があるか、活動として可能かなど確認し、適切にアドバイスする。	道徳 1-(2), 1-(5), 1-(4) 言語・数理運用科 「生活時間を振り返ろう」「テーマパークを楽しもう」「ETCを利用したドライブプランを提案しよう」

時間	キャリア能力	探究の過程	学習内容	ねらい	評価方法	学習形態や支援	教科等との関連
14 25	課題対応能力 キャリアプランニング能力	情報収集	地域サポート大作戦⑤ ・取り組みの計画書に基づいた活動をする	・取り組み計画書に基づき、課題解決に向けて積極的に活動しようとする。【関心・意欲・態度】 ・調べたことをその都度まとめ、記録することができる。 【表現・技能】 ・活動の途中で計画の見直し等の必要があれば適切に判断・修正し、活動することができる。 【思考・判断】	観察 ワークシート 自己評価	・(個人)取り組み計画書に基づき、活動する。 *各担当教員は活動の経過を見取り、軌道修正の必要があれば適切にアドバイスする。 *校外で活動する生徒には校外学習計画書を書かせ、保護者承諾書を持って来させる。 *各担当教員は関係機関へのポイントカードなど立ち会ったり、事前に確認しておく。 *各担当教員は活動の様子をできるだけ電子データに残しておく。	社会 「世界の国々の調査」 「地域の規模に応じた調査」 数学 「資料の活用」「比例・反比例」「1次関数」 「標本調査」 理科 「身のまわりの物質」 「天気とその変化」「化学変化とイオン」「科学技術と人間」「自然と人間」 保健体育 「運動やスポーツの多様性」 技術家庭科 「情報通信ネットワーク」「わたしたちの生活と住まい」「わたしたちの食生活」「マルチメディアの活用」 国語 「人物紹介パフレットをつくろう」 道徳 1-(1), 1-(3) 2-(3), 2-(4), 4-(1), 4-(2) 言語・数理運用科 「ようこそ広島街へ」
26 29	課題対応能力 人間関係形成・社会形成能力	整理・分析 まとめ・表現	地域サポート大作戦⑥ ・探究活動のまとめをする	・調査結果等を分析し、課題解決できたかを検証することができる。 【思考・判断】 ・探究活動の過程と結論を工夫しテーマとめることができる。 【表現・技能】 ・探究活動の過程と結論をどのようにまとめればみんなに分かりやすいかを考えようとする。 【関心・意欲・態度】	観察 ワークシート 作品 自己評価	・(個人)調査結果等を分析し、課題解決ができたかを分析する。 ・(個人)探究活動の過程と結論を模造紙や紙芝居、パワーポイントなど工夫しテーマとめる。 *活動の記録ではなく、考えたことや感想等を入れさせるようにする。 ・(グループ)グループで交流し合い、より良い作品にするために意見を言い合う。 ・(個人)グループの意見を取り入れながら、作品を完成させる。プレゼンテーションの練習をする。	国語 「相手を意識して伝えよう」「新聞の特徴を生かして書こう」「根拠を明らかにして書こう 意見を伝える」「視点を変えて書こう」 美術 「スケッチの楽しみ」「文字を生かしたデザイン」「主張する美術点描画」「新鮮な見方で」 道徳 3-(3) 言語・数理運用科 「原爆ドームと広島市民球場」「広島街の食を守れ」
30 33	人間関係形成・社会形成能力 課題対応能力	まとめ・表現	地域サポート大作戦⑦ ・講座内発表をする	・自分の探究活動の過程と結論などまとめたことを分かりやすく発表することができる。 【表現・技能】 ・仲間の発表を熱心に聴くことができる。【関心・意欲・態度】 ・仲間や自分の頑張った所やよい所を評価することができる。 【思考・判断】	観察 ワークシート 発表 自己評価	・(個人)探究活動の過程と結論などまとめたことを分かりやすく発表する。 ・(個人)仲間の発表を聴き、質問があればし、頑張った所やよい所を書く。 ・(個人)みんなの発表を聴き、自分を振り返るとともに、考えたことや感じたことを書く。 ・(グループ)全体発表会でどの発表をするのがよいか意見を出し合う。 ・(全体)全体発表会でどの発表をするのがよいかを決め、さらに良い発表にするための意見を出し合う。	国語 「プレゼンテーション」「体験を伝え合おう」 道徳 2-(3), 2-(5)
34 35	キャリアプランニング能力 課題対応能力	まとめ・表現 課題設定	地域サポート大作戦⑧ ・学年発表会をする	・探究活動の過程と結論などまとめたことを分かりやすく発表することができる。 【技能・表現】 ・各講座の発表を熱心に聴くことができる。 【関心・意欲・態度】 ・各講座の発表を聴いて頑張ったところやよいところを評価することができる。【思考・判断】 ・35時間の授業を振り返り、自分のがんばりや成長をまとめることができる。【技能・表現】	ワークシート 振り返り プリント 発表 観察	・(全体)各講座ごとの発表を聴く。 ・(個人)それぞれの発表のがんばりやよい所を評価する。 ・(個人)3年総合を振り返り、学んだことや感じたこと、自分の成長などをまとめる。	道徳 2-(3), 2-(5), 3-(3) 言語・数理運用科 「私のおすすめ宅配便」